

射水市教育委員会 2月定例会会議録

- I 開会日時 平成31年2月28日(木) 開会 午前10時25分
閉会 午前11時45分
- II 会議場所 庁舎会議室401
- III 出席委員
長井教育長、眞岸委員、宮原委員、織田委員、野上委員
- IV 会議事件説明員
松長事務局長、丹羽事務局次長、園木副参事(生涯学習・スポーツ課長)、菅原学校教育課長、清水教育センター所長、原田新湊博物館長、杉本中央図書館長、福井給食センター所長、竹内学校教育課長補佐、京角学校教育課副主幹、四日生涯学習・スポーツ課生涯学習係長
- V 傍聴人数 なし
- VI 会議の要旨
午前10時25分、教育長が開会を宣した。
- 1 会議録の承認
承認された。
- 2 事務局報告
(1) 射水市議会3月定例会会期日程について
(2) 平成30年度3月補正予算について
(3) 射水市議会3月定例会提出議案について
(4) 平成31年度予算(案)概要について
教育委員会事務局長が資料1から資料4に基づき説明した。
- 3 各課等の連絡事項及び報告事項
(1) 平成30年度末教員異動方針について
教育委員会事務局次長が資料5に基づき説明した。
(2) 平成30年度教育研究論文・教育実践記録について
教育センター所長が資料6に基づき説明した。
(3) 平成30年度卒業(園)式及び平成31年度入学(園)式について
学校教育課副主幹が資料7に基づき説明した。
(4) 平成30年度射水市社会教育委員会会議について
生涯学習・スポーツ課長が資料8に基づき説明した。
(5) (仮称)「親子で学ぶジュニアスポーツ論語塾」事業(案)について
生涯学習・スポーツ課長が資料9に基づき説明した。
(6) 教育委員会行事予定
学校教育課長補佐が資料10に基づき説明した。

4 その他

(1) 主な事業の進捗状況等について

学校教育課長が進捗状況を説明した。

(2) 次回教育委員会の開催日時について

3月定例会 3月28日(木) 午後2時00分から 本庁舎会議室401

5 議事

(1) 平成31年度予算(案)概要について

[委員] 21頁の小中学校ICT教育環境整備事業の中で、大型モニター整備とあるが、大型モニターとはどのようなものなのか。

[事務局] 既存の電子黒板ではなく、大型のプロジェクターのようなものである。

[委員] どういう配置を考えているのか。

[事務局] 全校で84台を整備し、状況を見ながら増やしていきたい。

[委員] 各教室でデジタル教科書を活用しているが、現在の50型モニターでは拡大しても後ろの席からでは見えにくいと思っている。新たに整備される大型モニターを各学級で平等に使用できるようにしてほしい。

[事務局] 国のICT機器整備方針に基づき、使用する学校現場の意見も聞きながら、計画的に整備していきたい。

[委員] 20頁の中学生夢づくり授業は、全中学校で実施するのか。

[事務局] 来年度は、2校での実施を予定している。

[委員] いみず鳳雛きらめき塾は、今年度で一巡し、全ての中学校が参加したことになるが、来年度の参加校はどのようなになるのか。

[事務局] 全ての中学校から参加者を募集するのではなく、今年度参加していない3校から募集する予定である。

[委員] あったか家族応援プロジェクト支援事業は、今年度実施している射水JCの事業を指しているのか。

[事務局] そのとおりである。事業内容については、今後射水JCにおいて検討されると思っているが、あったか家族応援プロジェクト支援事業に係る費用の一部を補助しようとするものである。

[委員] あったか家族応援プロジェクトについては、学校や関係諸団体に周知され、協力の輪が広がっているが、子育ての当事者である保護者に浸透していないように思われる。これから作成する「あったか家族応援寸劇動画」をPTAと連携する等、できるだけ多くの保護者が目にするような機会や周知に努めてほしい。

[事務局] 知ってほしい方には、中々伝わっていないと思っているので、あらゆる機会を捉えて周知をしていきたい。

(2) 平成30年度末教員異動方針について

[委員] 市教委では、再任用職員を各校に配置していると思うが、面接をしっかりと行い適材適所に配置する等の対応をお願いしたい。

[委員] 養護学校に1年研修に派遣した人を、学校現場で成果を活かせるような配置を考えてほしい。

[事務局] 2点のことについて留意しながら、県教委と相談しながら努めていきたい。

(3) 平成30年度 射水市社会教育委員会議について

[委員] 以前、この会議に参加する委員の出席率が低いと聞いていたが、今回はどうだったのか。

[事務局] この社会教育委員会議は、いつも出席率は良いが、出席率が低いのはスポーツ推進審議会であり、明日開催する予定であるが、今のところ出席率は大丈夫だと聞いている。

(4) (仮称) 親子で学ぶジュニアスポーツ論語塾事業 (案) について

[委員] 第1回と第2回は同じ講師であるが、講演する内容は一緒なのか。

[事務局] これから講師の先生と講演内容を相談させていただくが、それぞれ異なった講演内容を考えている。

[委員] 論語と聞くとスポーツ系よりも文化系の子どもに興味があると思うが、この事業は、スポーツ参加者に限定しているのか。

[事務局] 初回は、スポーツフェスタの後に講演会を考えており、スポーツ参加者に限定的になると思っているが、2回目はスポーツに限らず文化系の子どもにも是非参加していただきたいと思っている。

[委員] 広報にスポーツ参加者以外の一般の方も参加できる旨を掲載してはどうか。

[事務局] たくさんの親子に参加してもらえよう検討していく。

[委員] あったか論語塾に名称を変更してはどうか。

[事務局] 次年度以降も論語塾事業を継続していきたいと考えており、スポーツをする、しないに関らず、多くの小中学生の親子に参加してもらえよう市PTA連合会とも連携しながら検討していきたい。

[委員] スポーツ論語塾が役立つよう窓口を広げて実施していくとのことであるが、是非、事業の良さを多くの方に知ってもらえるように取り組んでほしい。

[委員] 次年度以降に実施する際は、多くの方が参加できるように開催時間を検討してほしい。また、ジュニアスポーツ論語塾のタイトルを見直し、スポーツをしない方も参加できるような事業名に改めてほしい。

[委員] 若いおじいちゃんやおばあちゃんも学校行事に参加しているので、お父さんお母さん以外の家族が参加できるように考えてほしい。

[委員] 学校では、あったか家族応援プロジェクト事業に参加しているので、学校にも論語塾に参加してもらうことを次年度に検討してはどうか。

[事務局] 学校が参加する、しないに関わらず多くの児童・生徒が参加できるように考えていきたい。

午前11時45分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。